



# SmartDefense Program Advisor Service

## アプリケーション・コントロールの自動化

### 課題

多くのネットワーク管理者および、セキュリティ管理者は、企業全体の生産性を低下させることなく、ネットワーク・セキュリティを維持するためのセキュリティ・ポリシーの研究と導入に時間を割いていますが、限られた人的リソースと与えられた時間内で常に最新のワーム、トロイの木馬、ゼロデイ攻撃の脅威に対応するためには、日々進化し続ける脅威に効率的かつ短時間で対処できる能力が必要です。

### 解決策

SmartDefense Program Advisor™ Serviceは、業界初のエンドポイント向けセキュリティ更新サービスです。このサービスを利用することにより、Integrityがアプリケーション・コントロールを行う為に必要となる意思決定に必要なプロセスを自動化し、生産性の向上とエンドポイントにおけるセキュリティ・レベルの維持を両立し、最終的にIT管理に関わる負荷を劇的に低減することを可能とします。管理者は、チェック・ポイントが持つアプリケーションに特化したデータベースに蓄積された、85,000以上のPCアプリケーション情報に対しリアルタイムにアクセスし、ネットワークでユーザが利用するアプリケーションをコントロールするための意思決定を行なえます。IT管理者は、企業内で新しい未知のアプリケーション利用に焦点を合わせ、ネットワーク内でのアプリケーション利用の可否を、チェック・ポイントが持つ比類なきアプリケーション情報を参考に客観的に決定することができます。

SmartDefense Program Advisor Serviceのリアルタイムでオンデマンドなポリシー決定により、「既に認識されていて正しい」アプリケーションのネットワーク・アクセスを許可する一方、企業ネットワークを攻撃しようとするゼロデイ・アタックへの脅威を確実にブロックします。SmartDefense Program Advisorはさらに、悪意のあるソフトウェア・プロセスを自動停止するように設定することもできます。SmartDefense Program Advisorは、チェック・ポイント製品の効率的でより高度なセキュリティの利用を可能にし、管理者は、かつて実現することができなかった新たな深さ、広さ、速さを兼ね備えたアプリケーション・セキュリティ・ポリシーの検討と導入を行なえます。

### エンドポイントおよびネットワークにおける可用性の向上

SmartDefense Program Advisorは、アプリケーション・コントロールに必要な意思決定を自動化し、セキュリティ上の問題が発生する前に対応を行なうことが可能な事前のセキュリティを提供し、エンドポイントとネットワークの可用性を向上させます。また、次々に出現する新たなセキュリティ脅威を識別し、悪意のあるアプリケーション・プロセスを自動停止してネットワークの不正利用を防止します。更に企業ネットワークの不正使用が原因の被害が発生する前に、次々に出現するゼロデイ・アタックのアプリケーション脅威を、その侵入経路で阻止することができます。管理対象のクライアントが「ネットワーク内」として社内LANにいるか、あるいは外部ネットワークである「ネットワーク外」に存在する場合でも、エンドポイントは、早急にチェック・ポイントのエキスペルト・アプリケーション・ポリシーにアクセスできる権限があります。SmartDefense Program Advisorは、エンドポイント上のセキュリティの問題などの理由によりネットワークを混乱させ、ネットワークが停止することで発生する重大な経済的ダメージから、企業を守ります。

### 製品の概要

チェック・ポイントの新しいSmartDefense™ ServiceであるSmartDefense Program Advisor Serviceで、PCアプリケーションのネットワーク・アクセスの可否に関わる判断や、アプリケーション利用に関わるポリシー決定を自動化することができます。

### 製品の特徴

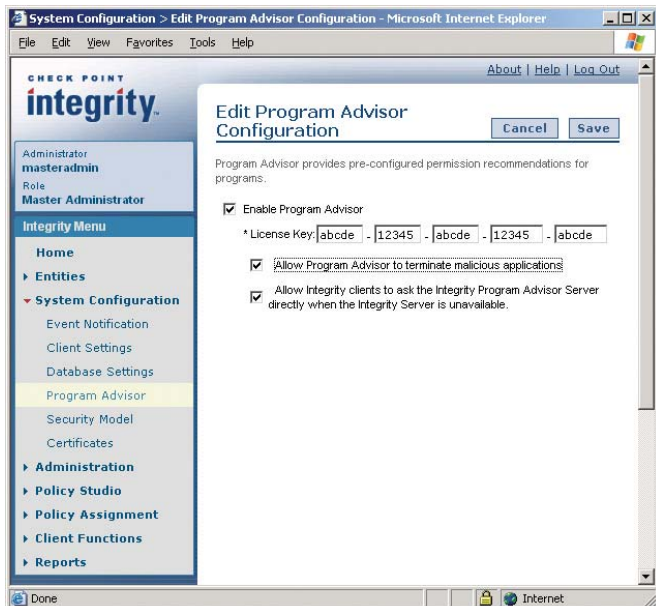
- アプリケーションのネットワーク・アクセスの許可またはブロックなど、セキュリティ決定を自動化するための情報を提供するサービス
- 85,000以上のPCアプリケーションに対応するアプリケーション・セキュリティ・ポリシー
- Integrityの管理コンソールを使用した集中管理

### 製品の利点

- エンドポイントでのアプリケーション利用と管理に要する時間、労力、関連コストを大幅に削減
- 最新のワームや悪意のあるマルウェアなどを自動でブロック
- ヘルプ・デスクへのサポート要請や、セキュリティ決定に関するエンド・ユーザの作業を軽減
- エンド・ユーザの作業を最小限化



チェック・ポイントはネットワークのあらゆる環境——境界、内部、Web——に対する確実なセキュリティ保護と、情報リソースの安全性、接続性、管理性を兼ね備えたソリューションを提供します。



SmartDefense Program Advisor Serviceの設定オプション

## 効率的な動的セキュリティ・ポリシー

SmartDefense Program Advisorは、動的にアプリケーション・コントロールを行なうためのポリシーを設定できるため、管理者はアプリケーション・セキュリティ・ポリシーの自動配布に関する設定、短時間で見直し変更、ポリシーの実施などの一連の作業を使い易いIntegrity管理コンソールより行えます。チェック・ポイントのセキュリティ・アラート・サービス・チームにより研究・開発されてきたアプリケーション・コントロールを行う為の制御ポリシーは、85,000以上のPCアプリケーションに対応しています。世界各地に点在するメンバーで構成されるチェック・ポイントのセキュリティ・チームは、次々に出現するアプリケーションやセキュリティ上の脅威の認識や調査を常に行い、アプリケーション・コントロールのための制御ポリシーの早期開発に力を注いでいます。「既に認識されている正しい」アプリケーションおよび「既に不正と認識された」アプリケーションに関するポリシーは、ゼロデイ・アタックの脅威に対する防御を迅速かつ容易に実施でき、管理者は未知のアプリケーションのためのセキュリティ・ポリシーの分析に集中できるようになります。

新しいアプリケーション・プログラムがネットワークへのアクセスを試みると、IntegrityクライアントはIntegrityサーバに対し予め定義してある接続環境でのアプリケーション・コントロールのためのポリシーを要求します。特にアプリケーション・コントロールのポリシーが設定されていない場合、IntegrityサーバはSmartDefense Program Advisor Serviceにクエリを送り、このアプリケーションへのネットワーク・アクセスの許可またはブロックの決定を要求します。SmartDefense Program Advisor Serviceを利用している企業は、チェック・ポイントが持つ総合的アプリケーション・セキュリティに関し、さまざまなデータを蓄積している情報データベースへのアクセス権があります。このデータベースより入手した新しいアプリケー

ションに関するセキュリティ・ポリシーは、Integrity製品の集中管理を行う管理コンソール経由で入手でき、管理者は企業で定めたアプリケーション利用規定に合致するポリシーを自動で実施するか、アプリケーション・セキュリティ・ポリシーをカスタマイズし実施するなどの選択を行なえます。

## セキュリティへの投資に対するリターンを増加

SmartDefense Program Advisorは、ネットワーク内でのアプリケーション利用に関する判断を自動化することで、ネットワーク・ユーザからアプリケーション利用に関するITヘルプ・デスクへの問い合わせを削減することができ、管理者における生産性の向上と企業のセキュリティ強化を両立することにより、セキュリティ投資のROIを最大化します。「既知の正しい」アプリケーションへのネットワーク・アクセス権の確実に与え、「既知の不正な」アプリケーションがネットワークへアクセスすることを自動で防御することは、エンド・ユーザおよび管理者、更に企業にとってリアルタイムなエンドポイント・セキュリティの実施とネットワークの可用性を確保でき、ひいては高い生産性を維持することができます。Integrityの管理コンソールに統合されたSmartDefense Program Advisorでは、チェック・ポイントのアプリケーション・コントロール・ポリシーを簡単にカスタマイズして実施できます。

業界で唯一チェック・ポイントのみが提供しているSmartDefense Program Advisorが提供する事前の防御に対応したエンドポイント・セキュリティ・サービスは、問題が発生してから対応策を提供しているリアクティブなセキュリティ技術では防御することができない未知の脅威に確実に対応し、ゼロデイ・アタックの脅威を克服することができる、卓越したアプリケーション・セキュリティ・ポリシーが特徴です。SmartDefense Program Advisorは、独創的なアプリケーション制御ポリシーを導入し、企業ネットワークへの投資を保護し、従業員の生産性を維持できる、唯一のエンドポイント・セキュリティ・サービスです。



SmartDefense Program Advisor ServiceはIntegrityの管理コンソールに完全統合されています

©2003-2005 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.  
 Check Point, Application Intelligence, Check Point Express, the Check Point logo, AlertAdvisor, ClusterXL, Cooperative Enforcement, ConnectControl, Connectra, CoSa, Cooperative Security Alliance, Eventia, Eventia Analyzer, Firewall-1, Firewall-1 GX, Firewall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, IMSecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, InterSpec, IQ Engine, Open Security Extension, OPSEC, Policy Lifecycle Management, Provider-1, Safe@Home, Safe@Office, SecureClient, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecureRemote, SecureXL Turbocard, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SiteManager-1, SmartCenter, SmartCenter Pro, Smartier Security, SmartDashboard, SmartDefense, SmartSM, SmartMap, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartViewTracker, SofaWare, SSL Network Extender, Stateful Clustering, TrueVector, Turbocard, UAM, User-to-Address Mapping, UserAuthority, VPN-1, VPN-1 Accelerator Card, VPN-1 Edge, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecureRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 VSX, VPN-1 XL, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Pro, Zone Lab, Zone Labsのロゴは、Check Point Software Technologies Ltd. およびその関連会社の商標、サービス・マーク又は登録商標です。その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書で記載された製品は米国の特許 No.5,606,668、5,835,726、6,496,935、および6,850,943により保護されています。その他の米国における特許や他の国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。